

## 開催されました！ 読書講演会



1月25日、図書館に寄居町出身の作家福田登女子さんを講師として招き、読書講演会『鉢形城主正室「大福御前」の生涯』が開催されました。町の歴史に関する講演内容ということで、募集定員を上回るお申し込みがあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

参加者からは「本を書いた動機など、いろいろな話をしてくださり良かったです」、「またこのような講演があったら参加したいと思います」などの感想が寄せられました。

## 防火・防災への誓い新たに！ 寄居町消防団出初式

新春の風物詩となった寄居町消防団出初式が1月18日にかわせみ荘グラウンドで行われました。当日は寒風の厳しい中、消防団員が一堂に会し、きびきびとした動作で点検を行い、統制のとれた行進を披露しました。

式では逸見和美消防団長より「日ごろの防災、減災の充実を図ることが大切であり、災害時には地域の皆様と協力し、消火活動や避難誘導などに対応していかなければならない」とあいさつがあり、続いて花輪町長からは「昼夜を分かたず活動していただき、敬意を表すとともに、支えているご家族に感謝します。また、首都直下大地震が危惧される中、消防防災の要としてご協力をお願いしたい」と訓示があり、改めて防火・防災への備えを誓いました。



## 井田勝美さん 埼玉県スポーツ少年団表彰受賞！



12月7日に「平成26年度埼玉県スポーツ少年団表彰式」が浦和ワシントンホテルで行われ、用土JVCスポーツ少年団代表の井田勝美さんに埼玉県スポーツ少年団から表彰盾が授与されました。

これは、長年少年団バレーボールチームの指導者として、スポーツ少年団の育成に貢献してきたことが評価されたものです。

井田さんは「表彰していただき大変光栄に思います。このことを励みに、これからもバレーボールを通して子どもたちの健全育成の一助となれるよう尽力していきたいと思います」と話してくれました。

## 内田早紀さん 全国小・中学校作文コンクール入選！



読売新聞社主催の「第64回全国小・中学校作文コンクール」の小学校低学年の部で、内田早紀さん（寄居小2年）の作文「『かべのらくがき』～わたしのしてしまったこと～」が応募作品数4,490編の中から入選しました。内田さんの作文は、埼玉県教育委員会教育長賞（特選）を受賞して埼玉県の代表に選ばれ、全国の審査を受けこの度の結果に至りました。

12月6日に都内のホテルで表彰式が行われ、高円宮妃殿下などからお祝いの言葉をいただきました。

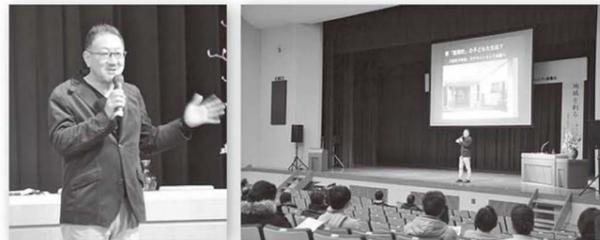
## 50畳の鳳凰が新春に舞う！ 寄居大凧揚げ



元日の寄居運動公園で、今市竹とんぼの会（梅沢文範会長）が中心となり「寄居大凧揚げ」が行われました。鳳凰が描かれた大凧のサイズは50畳もあり、縦9メートル、横8.5メートル、重さは200キロということで、引き揚げには約80人が参加しました。

参加者が一斉に走り出すと、大凧は空に吸い込まれるように見る見るうちに舞い上がり、100メートルを超える高さまで到達しました。平成23年から行われているこの企画ですが、5年目の今年、念願叶って見事に揚げることができました。

## 開催されました！ 共助社会づくり講演会



寄居町コミュニティ協議会（矢部伸昭会長）が主催する共助社会づくり講演会が、1月24日に中央公民館ホールで開催されました。福島県在住で東日本大震災の復興支援に携わる天野和彦さんを講師に招き、現地の復興状況や震災当時の様子について語っていただきました。「人は寂しさに勝てない」、「人を救うことができるのは人だけ」など、被災者と間近に接してきた先生だからこそ伝えられるメッセージを来場者は受け取りました。

講演会終了後、寄居町日赤奉仕団と寄居町コミュニティ協議会が共同で実施した炊き出し訓練のご飯と豚汁が来場者へ振る舞われました。



## 東武東上線沿線フォトコンテスト 寄居町長賞2作品決定！



▲写真左：村上さん 右：青木さん

1月12日、東武東上線沿線サミット実行委員会（豊島区、川越市、東松山市、寄居町、東武鉄道株式会社）主催の「第1回東武東上線沿線フォトコンテスト」の表彰式が豊島区の東武百貨店事務館で行われました。

今回のフォトコンテストには、東武東上線沿線の美しい風景や観光名所、季節ごとの祭りなどをテーマにした313作品の応募があり、大賞作品1点のほか、合計10作品が入選しました。

入選の寄居町長賞には、青木利行さん（常木）の「薄暮に咲く」、村上勇さん（深谷市黒田）の「金尾山春の宵」が選ばれました。

## 猪狩伍さん 彩の国優秀技能者(埼玉の名工)として表彰！

11月27日に埼玉会館で彩の国優秀技能者（埼玉の名工）の表彰式が行われ、木型木工の猪狩伍さん（北陸軽金属工業株式会社）が表彰されました。

彩の国優秀技能者（埼玉の名工）表彰は、極めて優れた技能を持ち、後継者の育成や労働者の福祉の増進および産業の発展に



貢献し、他の技能者の模範となっている方を県知事が表彰する制度です。

猪狩さんは「先輩たちが作り上げた技術、技能に感謝し、これからも喜ばれる製品作りに励むとともに、後輩たちにできる限りの技能を伝承していきたい」と話してくれました。

